

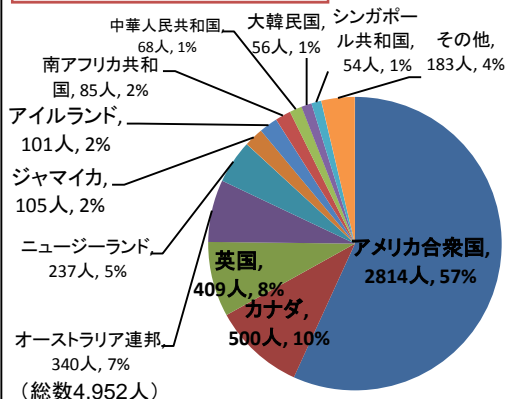
# J E Tプログラムについて “The Japan Exchange and Teaching Programme”

県市町村連携推進会議  
岩手県政策地域部国際室

JETプログラム：外国青年を日本に招致、地方自治体等が小中高校での外国語教育・自治体での国際業務に活用するプログラム  
⇒平成29年度で**31年目**：累計で世界65カ国から65,000人以上の外国青年を招致する**世界最大規模の人的交流プログラム**  
⇒**小学校での英語教育早期化やオリンピック・パラリンピック向けの国際交流（ホストタウン等）などに有意な人材を供給**

## (1) 平成28年度の状況

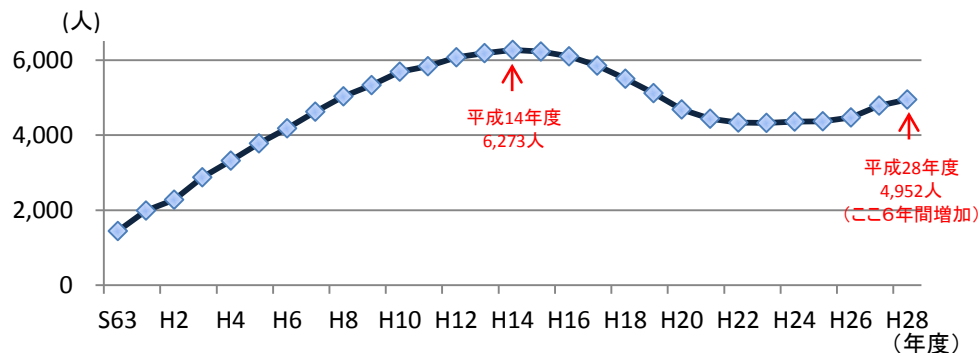
### ◆ 招致国別の内訳



### ◆ 職種別内訳

- ALT (Assistant Language Teacher: 外国語指導助手) : 4,536人  
⇒ 教育委員会や学校で、外国語教員等の助手として職務に従事
- CIR (Coordinator for International Relations: 国際交流員) : 410人  
⇒ 地方公共団体の国際交流担当部局等で国際交流活動に従事
- SEA (Sports Exchange Advisor: スポーツ国際交流員) : 6人

### ◆ 招致人数の推移



## (2) 地方財政措置

### 私立学校での活用に係る措置

#### 【従来】

地方公共団体におけるJET参加者の任用に係る経費について地方交付税措置

#### 【平成28年度～】

従来の措置に加え、私立学校におけるJET参加者の雇用に係る都道府県の助成経費について特別交付税措置

### プログラムコーディネーター（市町村）に係る措置

#### 【従来】

JETプログラムにより招致した外国青年の業務及び生活を支援するための人材であるプログラムコーディネーターの都道府県における経費について地方交付税措置

#### 【平成28年度～】

都道府県に加え、市町村においてプログラムコーディネーターの任用・委託等に係る経費について特別交付税措置

## (1) JETプログラムの概要

- JETプログラムは、外国青年を日本に招致し、小中高校での外国語教育や自治体での国際交流業務に活用する事業
- 4,952人(平成28年度)のJET青年が、日本各地で活躍
- これまで累計で世界65か国から約6万5千人を招致し、参加者は帰国後も日本理解の促進に貢献(例:母国の大学教員、駐日大使館員)

## (2) JET地域国際化塾について

### 【趣旨】

- 地域で生活するJET青年と、自治体・地域おこし関係者との出会い・交流の場である「JET地域国際化塾」を開催
  - JET青年:地域の国際化に一層貢献 + 地域おこし関係者の想いを理解・共有 + より強い「日本のサポーター」へ
  - 自治体・地域おこし関係者:JET青年からの新たな視点を通じた、グローバルな視点を持った地域活性化に応用

### 【概要】

- 参加者:100名程度を想定
  - JETプログラム参加者:開催県中心、他県の代表・JET-OB含む
  - 自治体・地域おこし関係者:国際・地域振興部局、学者、NPO法人 等

### 【実施内容】

- JET青年と地域おこし関係者とのワークショップ  
(ベストプラクティスや日本の地域おこしの手法の共有)
- 具体的な事例の視察・体験
- 参加したJET青年による成果発表

- ・全国のJET参加者ネットワークでも成果を共有
- ・JET参加者の地域への愛着心・日本理解の深化
- ・外国人の視点を踏まえた多様な地域振興の実現

